

【ポイント】

内政

- 4日、ラカジェ・ポウ大統領は、ウルグアイの麻薬密売人への旅券不正発給事案に関連する騒動を受けて、外務大臣、内務大臣、工業エネルギー鉱業大臣を交代させる旨発表した。
- 18日、デルガド大統領府長官(与党国民党所属)とコッセ・モンテビデオ県知事(野党拡大戦線(FA)所属)が2024年大統領選への出馬を表明した。
- 27日、2023年国勢調査の暫定結果が発表され、ウルグアイの総人口は344万4,263人で、前回調査を行った2011年と比較して約1%増加した。

外交

- 3日、米国訪問中のラカジェ・ポウ大統領は、「経済的繁栄のための米州パートナーシップ」(APEP)首脳会合に出席し、バイデン米大統領との会合を行った。
- 19日、ラカジェ・ポウ大統領は、アルゼンチン大統領選挙で選出されたミレイ・アルゼンチン次期大統領に電話で祝意を表し、両国共通の主要テーマについて話し合った。
- 18日~25日、ラカジェ・ポウ大統領は中国を訪問、習近平国家主席等と会合を行い、「包括的戦略的パートナーシップの構築に関するウルグアイと中国の共同声明」に署名した。

経済

- 6日、工業エネルギー鉱業省は、ウルグアイ政府が2040年に向けて取り組んでいる「グリーン水素ロードマップ」の最終版を発表した。
- 6日、経済財務省は、昨年10月に続き、気候変動指標に連動したサステナビリティ・リンク・ボンドを7億ドル追加発行した旨発表した。

【本文】

1 内政

(1)閣僚の交代

4日、ラカジェ・ポウ大統領は記者会見を行い、ウルグアイの麻薬密売人セバスティアン・マルセットへの旅券不正発給事案に関連する騒動を受けて、ブスティージョ外務大臣、ヘベル内務大臣、マシエル内務次官の辞意表明を受入れ、オマール・パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣を新外務大臣に、ニコラス・マルティネリ内務省事務総局長を新内務大臣に、エリサ・ファシオ工業エネルギー鉱業省事務総局長を新工業エネルギー鉱業大臣に就任させる旨発表した。

(2)デルガド大統領府長官とコッセ・モンテビデオ県知事の大統領選出馬表明

18日、デルガド大統領府長官(与党国民党所属)とコッセ・モンテビデオ県知事(野党拡大戦線(FA)所属)は、各々の政治集会において、2024年の大統領選挙に立候補する旨表明した。

(3)2023年国勢調査の暫定結果発表

27日、国家統計局(INE)は、2023年国勢調査の暫定結果を発表した。同調査によれば、ウルグアイの総人口は344万4,263人で、前回国勢調査を行った2011年と比較して約1%の増加にとどまった(年間の増加率は0.08%)。また、総人口に占める移民の割合は、2011年の2%から今回は3%に上

昇し、ウルグアイ人人口の減少を補完する形となった。移民の出身国は多い順から、ベネズエラ(27%)、アルゼンチン(22%)、キューバ(20%)、ブラジル(6%)、コロンビア(4%)、スペイン(3%)、チリ(2%)、ドミニカ共和国(2%)となっている。

2 外交

(1) ラカジェ・ポウ大統領のAPEP首脳会合出席

3日、米国訪問中のラカジェ・ポウ大統領は、バイデン米大統領を筆頭にホワイトハウスで開催された「経済的繁栄のための米州パートナーシップ」(APEP)首脳会合に出席し、ラテンアメリカの首脳らと共にバイデン米大統領との会合を行った。ラカジェ・ポウ大統領は、ラテンアメリカ地域との統合を強化するための米国議会の超党派の支持や、さらなる貿易と投資の達成のためにアメリカズ・アクト(Americas Act)や米ウルグアイ経済パートナーシップ法(US-Uruguay Economic Partnership Act)等のAPEPを補完し深化させる法案が提出されていること及び、企業に出資し、質の高い雇用を創出するための、地域のアクセラレーター(Aceleradora Regional)とベンチャーキャピタルの投資家ネットワークの創設に係る米国、カナダ、及びウルグアイの共同イニシアティブを評価した。

(2) ミレイ次期アルゼンチン大統領の選出に対する祝意表明

19日、外務省は、同日行われたアルゼンチン大統領選決選投票において、ミレイ・アルゼンチン次期大統領が選出されたことへの祝意を表す旨のプレスリリースを発出した。また、同日、中国訪問中のラカジェ・ポウ大統領は、自身のX(旧ツイッター)を通じてミレイ次期大統領を祝福するとともに、同次期大統領に電話をし、両国共通の主要テーマについて話し合った。

(3) ラカジェ・ポウ大統領の中国訪問

18日～25日、ラカジェ・ポウ大統領は中国を訪問、習近平国家主席等と会合を行い、多岐分野の協力に係る24の合意文書と、「包括的戦略的パートナーシップの構築に関するウルグアイと中国の共同声明」に署名した。同共同声明には、二国間関係を「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げすること、「シルクロード経済ベルトと21世紀海上シルクロードの共同建設促進に関する二国間協力計画」の実施を推進すること、ウルグアイの5Gネットワーク構築への中国企業の参入を歓迎すること、ウルグアイが「グローバル発展イニシアティブ」に参加すること、両国が自由貿易パートナーシップ(una asociacion de libre comercio)の構築を促進すると共に、メルコスールと中国間の自由貿易に関する対話も促進する用意があること、ラカジェ・ポウ大統領が習近平国家主席のウルグアイ訪問を招待すること等が記されている。

(4) ガザ地区におけるウルグアイ国籍の人質の解放

30日、外務省は、ガザ地区で人質となっていたウルグアイ国籍のシャニ・ゴレン女史(注:祖父母がウルグアイ人のため同国籍を保有しているが、イスラエル在住)が解放されたことを、喜びと共に報告する旨のプレスリリースを発出した。また、外務省は、シャニ女史の解放のために仲介の役割を果たした、カタール政府、エジプト政府、国際赤十字に感謝の意を表した。

3 経済

(1) グリーン水素ロードマップ最終版の発表

6日、工業エネルギー鉱業省は、2050年までの脱炭素化目標達成の観点からウルグアイ政府が2040年に向けて取り組んでいる戦略ロードマップの最終版を発表した。ウルグアイは、2017年から2020年にかけて再生可能エネルギーを97%とする電源構成の脱炭素化を皮切りに、エネルギー転換の第一

段階を完了した。エネルギー転換第二段階には、その他のエネルギーセクターと原材料の脱炭素化や、国内市場と輸出向けの水素経済の発展が含まれている。また、期待される成果として、2040年に年間19億ドルを売り上げ、3万人以上の質の高い雇用を創出することが見込まれている。

(2) サステナビリティ・リンク・ボンドの追加発行

6日、経済財務省は、昨年10月に続き、気候変動指標に連動したサステナビリティ・リンク・ボンドを7億ドル追加発行した旨発表した。需要は発行額を大幅に上回り、オーダーブックはピーク時に27億100万ドルに達した。この債券は年率5.6%で追加発行され、ピーク時のオーダーブックは、139の投資家で構成され、そのうち15口座が初めてウルグアイのソブリン債に投資した。また、需要の約89.5%が海外口座からで、残りはウルグアイ国内投資家によるものであった。海外口座のうち、大部分が米国と英国からであったが、ドイツ、オーストリア、カナダ、チリ、デンマーク、アラブ首長国連邦、アイルランド、日本、オランダ、チェコ、及びシンガポールからも投資家が参加し、韓国並びにスイスの政府機関も参加した。

4 要人往来

- ・18日～25日：ラカジェ・ポウ大統領、パガニーニ外務大臣、アルベレチェ経済財務大臣、マツス農牧水産大臣、ファンオ工業エネルギー鉱業大臣の中国訪問(習近平国家主席等との会合)
- ・21日～24日：ビエラ観光大臣のブラジル訪問(メルコスール観光大臣会合)